



ほっとかれん隊



ネットワークの名前の由来

ほっとかれん隊は、弥永・弥永西校区を中心とする福祉施設、介護事業所、企業等による事業所ネットワークです。名前の由来は、これから地域の方と力を合わせ“誰もが安心して暮らせるまちづくり”を目指して行こうという思いを「ほおっておけない」という言葉を博多弁で「ほっとかれんたい」と馴染みのある言葉に込め名づけました。

ネットワーク立ち上げの経緯

校区の高齢者や福祉施設・事業所を利用する高齢者が、認知症になっても地域の方々に見守られながら一人でも外出できるような、「馴染みのある関係」がある地域づくりがしたい。その為にも、子供からお年寄りまで世代交流を行いつつ、見守りの目を増やしていきたいという思いがありました。そこで私たち事業所も地域の「資源」として、できる事から始めようと考え平成28年6月に弥永・弥永西校区の事業所で「ほっとかれん隊」を立ち上げました。

高齢者をはじめとして“誰もが安心して暮らせるまちづくり”を目指して、「自分達にできること」、「住民と一緒にできること」を南区役所・南区社会福祉協議会・南第5いきいきセンターふくおかと連携し、検討・実践しています。

ひとつの施設・事業所だけではできないことも、事業所ネットワークをつくることでできることもあります。地域にプラスを与えられる存在になることを「ほっとかれん隊」は目指しています。

活動内容

各事業所が「できる時に」「できることを」が基本ですが、参加する各事業所でアイデアや意見・情報を出し合いながら、具体的な取り組みを検討しています。

【現在すすめている活動・地域との連携】

- ほほえみカフェへの協力や参加（場所提供、スタッフ協力・・・介護相談、バイタルチェック等）
- 行方不明者に対して、公民館閉館時の対応や受入（行方不明者の情報・状況をLINEグループで共有）
- 地域ケア会議、ボランティア会議（校区社協定例会等）への参加（地域課題の共有を図る）
- 認知症行方不明者捜索模擬訓練への参加、協力（専門職として声のかけ方や接し方を伝える）
- キャラバンメイトによる認知症サポーターへの参加、協力（校区民、企業、小学性、中学生、県民介護講座）
- 校区、各団体が主催する講座等への協力（健康体操、もの忘れ勉強会、介護に関する相談等）
- 出前講座（歯科医：口腔ケア、整形外科：予防体操）
- RUN伴+九州ファイア参加（校区の皆様と共に認知症の啓発活動）

Community Voice

地域からのメッセージ

ほっとかれん隊の事業所と毎月第四水曜日に定例会議を行い、地域の高齢者の支援体制づくりに多大な協力をして頂いています。私共弥永校区は、南区で高齢化率がNo.1ということから、認知症の徘徊事例などもあり自治協議会、校区社協、民生委員だけでは対応は難しい面もありましたが、ほっとかれん隊は昼夜を問わず、心強い協力をしていただいています。

これからも、ほっとかれん隊の皆様と情報を共有しながら、高齢者の見守りを続けて弥永、ほっとかれん隊徘徊高齢者対応マニュアルを作成し「誰もが安心して暮らせる町を」を目指して行きますので、よろしくお願い致します。



弥永公民館
館長 大島 好勝

